

# 復興庁男女共同参画班の取組

平成29年11月

復興庁男女共同参画班

## 男女共同参画班の位置付け

- 東日本大震災復興基本法及び「復興・創生期間」における東日本大震災からの復興の基本方針等に男女共同参画に関する記述あり。
- 基本法では、「女性、子ども、障害者等を含めた多様な国民の意見が反映されるべきこと」と規定。
- 基本方針では、「復興のあらゆる場・組織への女性の参画拡大を通じて、復興過程における男女共同参画を一層推進する」と記載。



これらに基づき、復興庁男女共同参画班が設置・活動

## 主な取組と今後の方向性

### 事例集の作成・公表

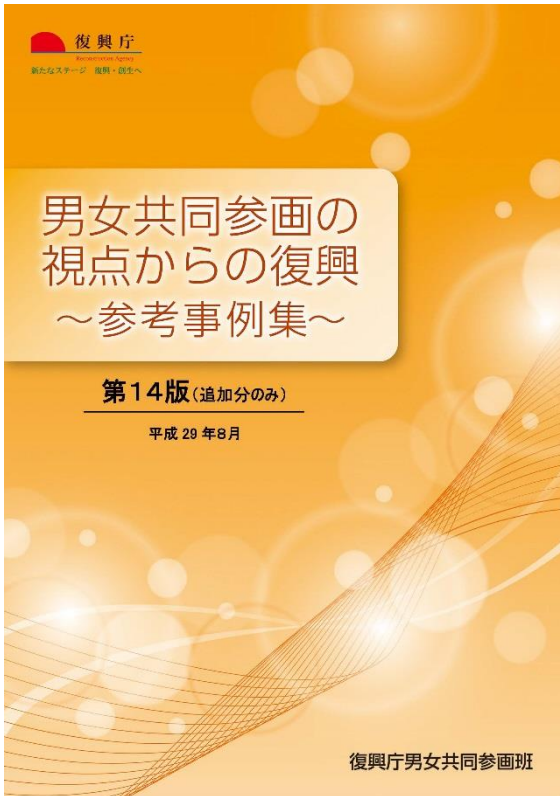
- 主に女性が中心となっていて行われている取組や取組を行っている女性を支援する取組等を取材。
- 取材の結果を取りまとめ、事例集として公表。

### 復興活動への男女共同参画の視点の浸透

- 復興にも男女共同参画の視点を持つことの必要性を理解してもらう（＝浸透させる）ための活動。
- パネルディスカッション・シンポジウムの開催、ワークショップの開催、研修会の講師等、被災地の自治体等のニーズに応じて実施。

第4次男女共同参画基本計画等も念頭に置きつつ、被災地自治体等のニーズを踏まえながら実施

## 事例集の作成・公表



- 男女共同参画の視点をもって行われている東日本大震災に係る復興活動に関する事例の収集・とりまとめ・公表。
- 現在**103**事例をHP上にて公表（平成29年8月末時点）。
- **第11版（平成29年1月）より、様式を変更。**
- **平成28年度～29年度はフォローアップに注力。**

平成27年度は8件だったところを、**平成28年度は14件追加で掲載。平成29年度は10月時点で13件追加で掲載。**

# 復興庁男女共同参画班にご相談ください

復興庁男女共同参画班は、復興にも男女共同参画の視点を持つことの必要性を理解してもらおう取組を進めるため、必要な相談を承っております。

相談を受け、具体的には、ワークショップ、シンポジウム/パネルディスカッション、セミナー・講演、ポスター・パネル展示等を行っております。

お気軽にご相談ください！

## 【連絡先】

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎4号館10階

電話：03-6328-0274

FAX：03-6328-0299

メールアドレス：fukkocho.danjohan@cas.go.jp

Webサイト：<http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-16/>

担当：秋田、佐々木

## 復興活動への男女共同参画の視点の浸透

### 1. 熊本での東日本大震災での男女共同参画の知見を伝えるシンポジウムの実施（平成29年1月21日）

- 「熊本地震からの復興を考える－これからのコミュニティ再生を中心に－（東日本大震災・過去の災害の教訓を男女共同参画や災害時要援護者などの多様な視点から）」と題して、復興庁・内閣府（防災担当が主催、男女共同参画局が共催）が協力し、熊本にてシンポジウムを実施。
- 避難所が閉鎖され、被災者の多くが仮設住宅（借上型仮設住宅を含む。）に移行されて数ヶ月、新たな住居で課題となると予想される「**コミュニティの再生**」を**中心テーマ**として実施。熊本地震、東日本大震災及び過去の災害からの取組・経験・知恵を共有し、**男女共同参画や災害時要援護者などの多様な視点を取り入れた**、今後の熊本の復興の在り方や災害への備えについて考え、更には、熊本の経験を共有し、東北の復興にもつなげていくことを目的に開催。

## 復興活動への男女共同参画の視点の浸透

### 1. 熊本での東日本大震災での男女共同参画の知見を伝えるシンポジウムの実施（平成29年1月21日）

○プログラムは、

- ・ 奥山恵美子仙台市長による基調講演
- ・ 防災・復興に携わり、経験・知見を持つ有識者の方々による事例発表やパネルディスカッション

コーディネータ 新潟大学危機管理室

パネラー くまもと県民交流館「パレア」

熊本市男女共同参画センター「はあもにい」

(公財) せんだい男女共同参画財団

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

NPO法人インクルいわて

認定NPO法人CS神戸

田村圭子教授

中園三千代館長

藤井有貴子館長

木須八重子理事長

天野和彦特任准教授

山屋理恵理事長

中村順子理事長

- ・ 災害に関する取組を行っている団体の展示ブースと三部構成で実施。



## 復興活動への男女共同参画の視点の浸透

### 2. 岩手県若者女性協働推進室主催

#### 「みんなで考える復興と田老のまち」への協力（平成29年2月18日）

- 岩手県若者女性協働推進室より、「平成28年度男女共同参画の視点からの防災・復興に関する普及啓発事業」について、宮古市田老地区で実施するワークショップの講師派遣や内容等について、相談があり、**当日全体の流れや、（宮城県からの講師を含む）講師等のご紹介等**について、県から頂いた情報を踏まえてご提案。
- その結果、
  - ・ 鹿折まちづくり協議会事務局 **丹澤 千草氏**
  - ・ NPO法人おおさき地域創造研究会事務局長 **小玉 順子氏**
  - ・ 岩手大学三陸復興・地域創生推進機構 地域コミュニティ再生支援班特任研究員 **船戸 義和氏**の3名を講師としてお招きし、それぞれから多様な主体がまちづくりに参加した事例等を発表後、発表内容を深めるための質疑応答中心のグループワークを実施。
- 当日も、ファシリテーターとして、**復興庁職員が参加**し、各グループのファシリテーターとして入り、グループワークの進行等を実施。

## 復興活動への男女共同参画の視点の浸透

### 3. 岩手県男女共同参画サポーター養成講座

#### 「復興における地域コミュニティの再生を事例から学ぶー男女共同参画の視点からの復興ー」

- 岩手県が行っている男女共同参画サポーター養成講座のうち、平成29年9月25日（月）12時半～14時半の1講座を復興庁男女共同参画班が担当。
- 釜石市・石巻市北上町の地域づくり活動について、4名の登壇者からお話いただき、それぞれの活動において、男女共同参画を含めた多様な視点がどのように盛り込まれているかについて考え、参加者にとって、自分の地域でのまちづくりに「男女共同参画を含めた多様な視点」を反映していくためのきっかけづくりとなることを目的に開催。
- コーディネーターの認定NPO法人JEN高橋 清子氏の進行のもと、4名から事例発表頂き、その後、それぞれの地域づくりの事例について、男女共同参画の視点からはどのような気付きがあったかを、高橋氏が解説した。また、事例発表者に登壇いただきパネルディスカッションを行った。
- 事例発表とパネルディスカッションの後それぞれに、参加者同士で自分の考えを共有する時間を作るなど、より参加者の学びが深まるような取組を行った。

#### 事例発表① 岩手県釜石市に関する発表

釜石市 釜石地区生活応援センター 所長 兼 釜石公民館長 柝内 宏文 氏  
釜石市社会福祉協議会 地域福祉課生活ご安心センター 課長兼副センター長 菊池 亮 氏

#### 事例発表② 宮城県石巻市北上町に関する発表

一般社団法人 ウィーアーワン北上 代表理事 佐藤 尚美 氏  
公立大学法人岩手県立大学 社会福祉学部 准教授 庄司 知恵子 氏



## 復興活動への男女共同参画の視点の浸透

### 4. 南相馬市 男女共生こども課主催

#### 「佐伯チズ講演会～人生を磨く『きれいのルール』～」 （平成29年10月12日）への協力について

- 美容家・生活アドバイザーの佐伯チズ氏は、独自の美容論とローションパックを主にしたスキンケア方法について、多くの女性から支持を受けている方であり、東日本大震災からの復興に関しては、被災者を元気付け、エンパワーメントするため、女性の美容と健康について、被災地を回って講演されているところ。
- 佐伯チズ氏の事務所から当班に、被災地支援をしたい旨、一昨年にご連絡があったことをきっかけに、一昨年、昨年と、石巻市における佐伯チズ氏の講演会の開催に協力。
- 当班が市町村訪問する中、南相馬市男女共生こども課から、南相馬市の女性を元気にできないかとの相談を受け、また、佐伯チズ氏からは、引き続き少しでも復興の役に立ちたいとの意向を伺っていたことから、**当班がコーディネートし、南相馬市における講演会の実施につながった。**実際に参加された方からは、「久しぶりに震災を忘れて楽しむことができた」などと好評であった。

# 復興庁男女共同参画班のワークショップの 開催等の取組実績一覧（平成27年度以降）

## 取組実績一覧

### ■ワークショップ

- ・岩手県、岩手県男女共同参画センター（平成28年度）  
「いわて男女共同参画フェスティバル2016 第4分科会」
- ・宮城県亘理町（平成27年度）  
「平成27年度『女と男共に学ぶ町民のつどい』委員会」
- ・福島県男女共生センター（平成27年度）  
「平成27年度未来館エンパワーメント塾 災害リスクを減らし、回復力を高めるための実践支援 セミナー」

### ■シンポジウム/パネルディスカッション

- ・岩手県、岩手県男女共同参画センター（平成29年度）  
「いわて男女共同参画フェスティバル2017 第4分科会」
- ・復興庁（熊本）（平成28年度）  
「熊本地震からの復興を考える～これからのコミュニティ再生を中心に～（東日本大震災・過去の災害の教訓を男女共同参画や災害時の教訓を男女共同参画や災害時要援護者などの多様な視点から）」
- ・岩手県（平成28年度）  
「平成28年度男女共同参画の視点からの防災・復興に関する普及啓発事業」
- ・復興庁（仙台）（平成27年度）  
「よりよい復興のために～事例に学ぶ男女共同参画と復興～」
- ・独立行政法人国立女性教育会館（NWEC）（平成27年度）  
「男女共同参画推進フォーラム リレートーク『東北はいま～男女共同参画の視点からの復興～』」
- ・岩手県、岩手県男女共同参画センター（平成27年度）  
「いわて男女共同参画フェスティバル2015 分科会4」

# 復興庁男女共同参画班のワークショップの開催等の取組実績一覧（平成27年度以降）

## 取組実績一覧

### ■ セミナー・講演

- ・福島県、福島県男女共生センター（平成29年度）  
「平成29年度福島県市町村男女共同参画新任担当者研修」
- ・宮城県（平成29年度）  
「平成29年度市町村男女共同参画行政主管課長会議」
- ・JICA東北（平成28年度）  
「課題別研修『ジェンダーと多様性からの災害リスク削減』コース」
- ・福島県、福島県男女共生センター（平成28年度）  
「平成28年度福島県市町村男女共同参画新任担当者研修」
- ・宮城県名取市（平成27年度）  
「『男女共同参画の視点からの復興のまちづくりと防災について』講演会」

### ■ ポスター・パネル展示

- ・復興庁（平成28年度）  
「熊本地震からの復興を考える～これからのコミュニティ再生を中心に～」
- ・内閣府（平成28年度）  
「第1回 防災推進国民大会 大規模災害への備え ～過去に学び未来を拓く～」
- ・岩手県男女共同参画センター・岩手県（平成28年度）  
「いわて男女共同参画フェスティバル2016」
- ・国立女性教育会館（NVEC）（平成27年度）  
「男女共同参画推進フォーラム」

# 復興庁男女共同参画班の平成29年度の方針

## 1. 被災地自治体・関係団体等との連携・協力

これまで同様、被災3県を中心に自治体担当者や被災各県の男女共同参画センター等との情報・意見交換を行い、被災地のニーズを把握するとともに、連携・協力体制を確立できるよう努める。

## 2. まちづくりやコミュニティ形成という分野における男女共同参画の視点の浸透

震災から6年経過し、今後も重要なテーマとなる「まちづくり」や「コミュニティ形成」という分野において、男女共同参画の視点を浸透すべく、

- ・男女共同参画関係のイベントにおいて、まちづくりやコミュニティ形成をテーマに企画
- ・まちづくりやコミュニティ形成のイベントにおいては、男女共同参画の視点を取り入れてもらう取組

など、シンポジウムの開催、研修会の講師、講師の紹介（3県の状況を把握しているという強みを生かしながら、例えば、岩手には、宮城・福島の講師や事例を紹介）を通じて被災地自治体・関係団体等をサポートする。

## 3. 活動事例の情報収集と事例集への掲載

平成28年度に引き続き、これまで取り上げた被災3県における事例集掲載団体のフォローアップを行うとともに、新規事例の収集・掲載等、最新の情報を発信することにより、現在活動している方や今後活動をされる方の活動に寄与する。